

情報サービス演習II 第1回 オリエンテーションと論理演算

鶴見大学 非常勤講師
江草由佳
(国立教育政策研究所 総括研究官)
yuka@nier.go.jp

1

今回のおしながき

- オリエンテーション
 - 講義の目的・内容
 - 評価方法・指導方法
 - テキスト・Webサイト・E-mail
 - USBメモリ
 - サーチャー試験
- 講義
 - コンピュータ検索の基本・・・教科書 p.21～
 - 論理演算と論理演算子 (AND、OR、NOT) 教科書p.22～
- 第1回演習課題:論理演算

2

講義・演習の目的・内容

- 蓄積された大量情報の中から、必要な情報を迅速、的確に検索するための知識を習得する。
- 各種情報メディアによる検索の特徴と検索システムの構造を理解する。
- インターネットによる情報検索を実際に演習することにより、検索スキルを習得する。

データベース検索スキルを身につける

3

評価方法・指導方法

- 評価方法
 - 50%:出席+演習課題の提出結果
 - 全て出席することを基本とする
 - 50%:最終試験の成績
 - 全ての演習を理解して復習すれば及第点がとれる試験です(演習を頑張りましょう)
- 指導方法
 - 情報検索の理論についてテキストを使用して解説する。その後演習課題を行う。
 - 実際にデータベース検索の演習を通じて、情報検索の基本を身につけられるようにする。

4

テキスト・Webサイト・E-mail

- テキスト
 - 原田智子編著「改訂 情報サービス演習」樹村房 2016年12月 ￥2,100
 - **講義や演習で使うので必ず毎回持参すること!**
- 講義のWebサイト
 - <http://momiji.mimoza.jp/lecture/2019/ir/>
 - 講義の資料がある
 - 講義の開始時にお気に入りに追加+講義資料のダウンロードをすること
- 講義時間外の質問はE-mailで! yuka@nier.go.jp

5

講義Webサイト利用方法 (次回以降の演習準備)

- 講義Webサイト閲覧+お気に入り追加
 1. Internet Explore を起動
 - “スタート”→“全てのプログラム”→“Internet Explore”
 2. “アドレス”に以下を入力、“Enter”キー
<http://momiji.mimoza.jp/lecture/2019/ir/>
 3. “お気に入り”→“お気に入りに追加”→“OK”
- 講義資料取り寄せ(ダウンロード)方法
 1. リンクの部分の上のマウスポインタを持っていき、右ボタンをクリック
 2. “対象をファイルに保存”を選ぶ
 3. (USBメモリ等の場所を選び、)“保存”ボタンをクリックする
USBメモリを**毎回持参**すること(課題の保存もあります)
 4. (印刷したい人は)印刷

6

サーチャー(情報専門家)の資格

- 資格
 - 履歴書に書ける!(運転免許だけじゃさみしい)
 - コンピュータ利用の基本能力があること、情報の専門化をアピールできる
- 2. 検索技術者検定 3級
 - 受けたい人は江草に連絡
 - <http://www.infosta.or.jp/examination/>
 - 参考書:
検索スキルをみがく B5判 144ページ 定価:1,800円
上記URLで買える
- 3. 検索技術者検定 1級/2級

7

コンピュータ検索の基本

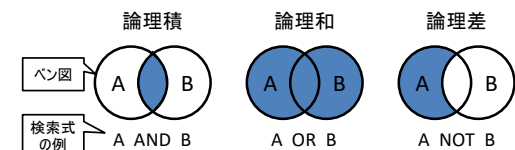
- レファレンスブック
VS
- コンピュータ検索
 - 論理演算
 - トランケーション
- インターネット情報資源 (Web情報資源)
- CD-ROM
- DVD-ROM

大事なこと:
使おうとする検索エンジン、検索システムで
どのような機能が使用できるのかヘルプなどで確認する

8

論理演算と論理演算子

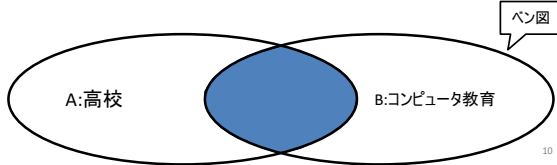
- 論理演算
 - 論理積 (AND)、論理和 (OR)、論理差 (NOT)
- 論理演算子
 - 説明ではAND, OR, NOTを使うが、演算子の書き方はシステムによって様々である。



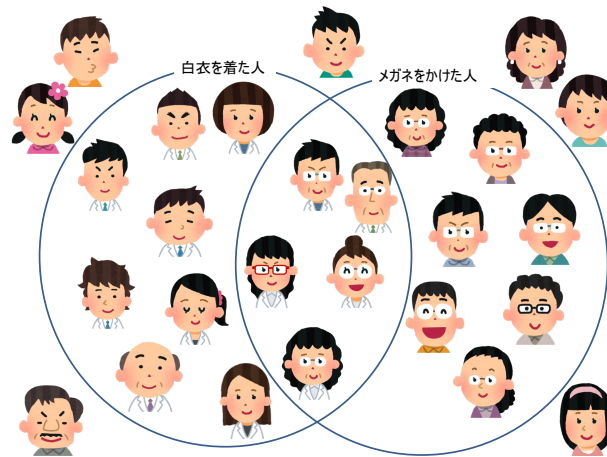
9

論理積 (AND)

- Aという検索語を持つ情報の集合とBという検索語をもつ集合の両方を含む部分を検索すること
- 情報を絞り込んでいくときに有用
- 例:「高校におけるコンピュータ教育」
- 検索式:”高校 AND コンピュータ教育”



10



論理積の例:教育 and 情報

「教育」と「情報」の両方を含む

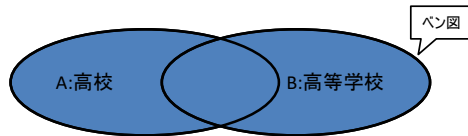
- ヒット 高等学校「情報」教員養成におけるメディア・リテラシー教育
- ヒット 情報教育に関する問題—高等学校の情報関係科目の履修の経験による検討
- 3. 高校生のコンピュータに対する意識調査
- 4. 高等学校教員免許状取得の現状と課題—教科「情報」の免許状の取得
- ヒット 高校普通教科「情報」とスキル教育
- 6. 高校生の情報活用に関する日中比較
- 7. 高校教育の多様化-高等学校現場からの報告
- 8. デジタルメディア利用教授不安の減少と高校生のコンピュータ不安



12

論理和 (OR)

- Aという検索語を持つ情報の集合とBという検索語のいずれか一方の検索語をもつ集合部分と、両方をもつ集合部分全てを検索すること
- 同義語などの検索に有用
- 例:「高校におけるコンピュータ教育」
- 検索式:”高校 OR 高等学校”

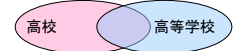


13

論理和の例:高校 or 高等学校

「高校」か「高等学校」のどちらかを含む

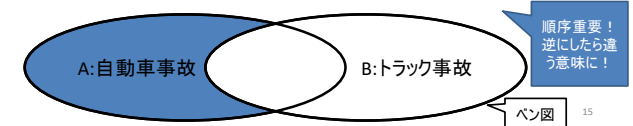
- ヒット 高等学校「情報」教員養成におけるメディア・リテラシー教育
- 2. 情報教育に関する問題—高等学校の情報関係科目の履修の経験による検討
- ヒット 3. 高校生のコンピュータに対する意識調査
- ヒット 高等学校教員免許状取得の現状と課題—教科「情報」の免許状の取得
- ヒット 5. 高校普通教科「情報」とスキル教育
- ヒット 高校生の情報活用に関する日中比較
- ヒット 高校教育の多様化-高等学校現場からの報告
- ヒット デジタルメディア利用教授不安の減少と高校生のコンピュータ不安
- ヒット



14

論理差 (NOT)

- Aという検索語を持つ情報の集合からBという検索語をもつ集合部分を除いた部分を検索すること
- 複数の言語で書かれていることはすくないので、ロシア語文献を抜くといった検索に有効
- 例:「トラック事故以外の自動車事故」
- 検索式:”自動車事故 NOT トラック事故”



15

論理差の例:自動車 not トラック

「自動車」を含みかつ「トラック」を含まない

- ヒット アジアの自動車産業
- ヒット 新しい自動車の構造と運転取扱法
- 3. 自動3輪トラックの構造と運転
- ヒット アメリカの自動車会社ビッグ3の復活
- 5. はたらく自動車:トラック・工事用車両
- 6. 大型トラック・トレーラの安全対策の研究

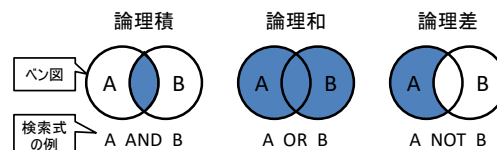


16

まとめ

論理演算と論理演算子

- 論理演算
 - 論理積 (AND)、論理和 (OR)、論理差 (NOT)
- 論理演算子
 - 説明ではAND, OR, NOTを使うが、演算子の書き方はシステムによって様々である。



17

第1回演習課題: 論理演算

- 演習課題を行い、提出しなさい
 - ✕切: 次回の最初に集めます。
 - 演習課題は講義Webサイトにもあります。
 - 学籍番号、名前、提出年月日を忘れないこと
- この課題のねらい:
 - 論理演算を使った検索式を使って理解する
 - ベン図が描けるようになる
 - 論理積、論理和、論理差の違いがわかるようになる

18